



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



日本共産党八千代市議団メール: kyousan@jcp-yachiyo.jp

第 699 号

2026 年 8 月 17 日

発 行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

八千代市にレベル 5 の特別災害情報発令

8月13日の大雨警報・注意報について、八千代市の報告を見ますと、最大1時間雨量は18：20分～19：20分で112.5mm、最大10分雨量19：10分～19：20分で27.5mmとかつてない豪雨にみまわれました。

身元不明の被害者1名。13日の積算雨量は287.0mm、最大瞬間風速は23.6メートル（19：46分）など台風をも上回る風雨で市内各所で内水氾濫が発生、床上・床下浸水、水没して動けなくなった車など、「なすすべもなかった」と災害の怖さを改めて感じざるを得ませんでした。

13 年前の台風よりも、被害はより深刻

13年前の台風被害を思い浮かべた方もいらっしゃると思いますが、「夜突然に高津川（八千代1号幹線）の監視カメラが見られなくなった。そう思っているうちに玄関まで水かさが増してきた」「2階への避難を考えた」「車の移動はもう無理か」など、多くのみなさんが命を大事に選択してくれました。

しかし、あまりにも突然の事で「あの台風被害よりも悲惨な状況です」と日本共産党市議団には深刻な声が寄せられています。

特に「大和田南小学校の貯水池は機能していたんですか」との強い声が多数あります。「子どもの運動会を他の場所でやりながら、自分らの暮らしを守るための貯水池建設事業だったのに」と悔しそうに話す方もいました。

東部地域では、大雨の影響でガス供給が停止に

村上、上高野、勝田台北と佐倉市の一部を含めて12、891戸が、大雨のためガス供給停止も15日の19時には、供給率が100%になり「お風呂に入りたかった」と安堵の声もありました。大多喜ガスをはじめ多くのガス会社の協力があって、早期復旧ができました。災害時の協力体制に感謝です。

住民の声を受け止め、罹災証明、災害ゴミの受付などに配慮を

さて、八千代市から罹災証明書や災害ごみの受付が15日9時から始まりました。しかし、車の浸水や高齢化により「窓口まで行けない」「運べない」との声があります。地域ごとの臨時窓口の開設や千葉市のように「家まで災害ごみを引き取りにきてくれる」システムが必要です。こうしたみなさんの声をもとに、日本共産党市議団は17日に市へ要望書を提出いたします。みなさんが安心して暮らせるように今後もみなさんの声をお聞かせください。

※罹災証明書＝被害写真は必須です。！家屋の被害がわかるように写真などで、水位がどの程度まできていたか、しっかりと写してください。罹災証明書を発行することで、公的な支援金や税金の減免など受けられます。暮らしを立て直すためにも必要ですので、写真を撮って届出を行なってください。